



**第32期（2016年12月期） 第2四半期  
決算補足説明資料**

**2016年8月4日**

**サイバネットシステム株式会社**

つくる情熱を、支える情熱。

**CYBERNET**

## 略式記号について

15.12 / 2Q

2015年 12 月期 第2 四半期期間

15.12 / 1H

2015年 12 月期 第2 四半期累計期間

15.12

2015年 12 月期 通期

16.12 / 2Q

2016年 12 月期 第2 四半期期間

16.12 / 1H

2016年 12 月期 第2 四半期累計期間

16.12 E

2016年 12 月期 通期予想

## ◆ 2016年12月期 第2四半期 決算の概況

[連結]業績の概況	5
[連結]営業利益の増減要因（前年同期比較）	6
[連結]営業利益の増減要因（計画比較）	7
[連結]貸借対照表	8
[連結]キャッシュ・フロー計算書	9
[連結]四半期売上高の推移	10
[連結]セグメント別損益の概況	11
[連結]事業別売上高の増減要因（前年同期比較）	12
[連結]事業別売上高の構成比	13
[連結]事業別営業利益の増減要因（前年同期比較）	14
[個別]ソリューション別の概況	15
[個別]応用分野別売上高	17
[個別]業種別売上高	19
[個別]ライセンス契約別売上高	21
[連結]海外子会社の状況	22

## ◆ 2016年12月期 業績予想

[連結]当期の業績予想	25
[連結]当期の配当予想	26

## ◆ 参考資料

個別業績及び予想等を記載しております。



# 2016年12月期 第2四半期 決算の概況

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 〔連結〕業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	16.12/1H	15.12/1H			16.12/1H		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	8,958	8,378	+ 580	106.9%	8,842	+ 116	101.3%
営業利益	907	628	+ 278	144.4%	595	+ 312	152.5%
営業利益率	10.1%	7.5%	+ 2.6P		6.7%	+ 3.4P	
経常利益	899	672	+ 227	133.7%	644	+ 255	139.7%
経常利益率	10.0%	8.0%	+ 2.0P		7.3%	+ 2.7P	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	503	300	+ 202	167.4%	300	+ 203	167.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益率	5.6%	3.6%	+ 2.0P		3.4%	+ 2.2P	
のれん償却前営業利益	1,078	819	+ 258	131.6%	783	+ 294	137.6%
のれん償却前営業利益率	12.0%	9.8%	+ 2.2P		8.9%	+ 3.1P	

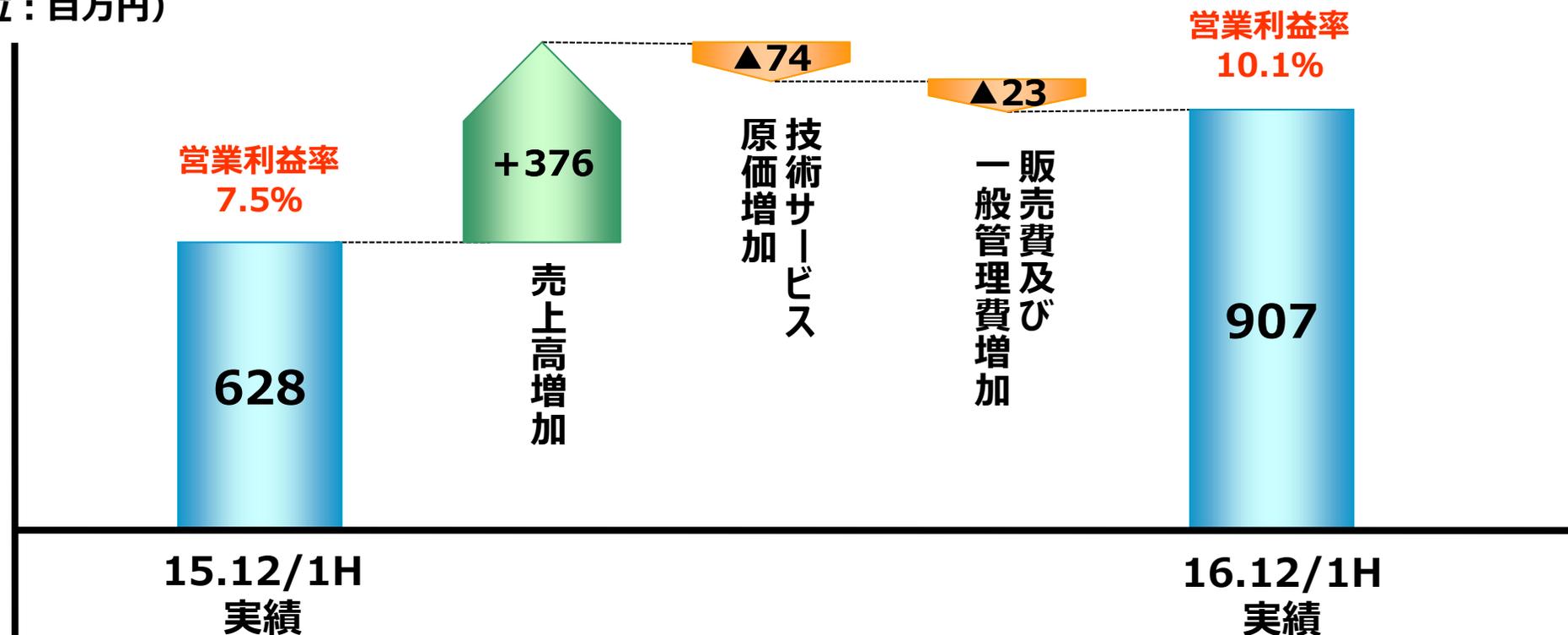
※P：ポイント

※「四半期純利益」から「親会社株主に帰属する四半期純利益」に名称を変更しております

# [連結] 営業利益の増減要因 (前年同期比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



## 前期比増減要因

### ○商品利益

国内は、光学設計評価プログラムやモデルベース開発エンジニアリングサービスが好調に推移  
海外は、カナダの開発子会社が好調に推移

### ○技術サービス原価・販売費及び一般管理費

採用拡大により人件費が増加

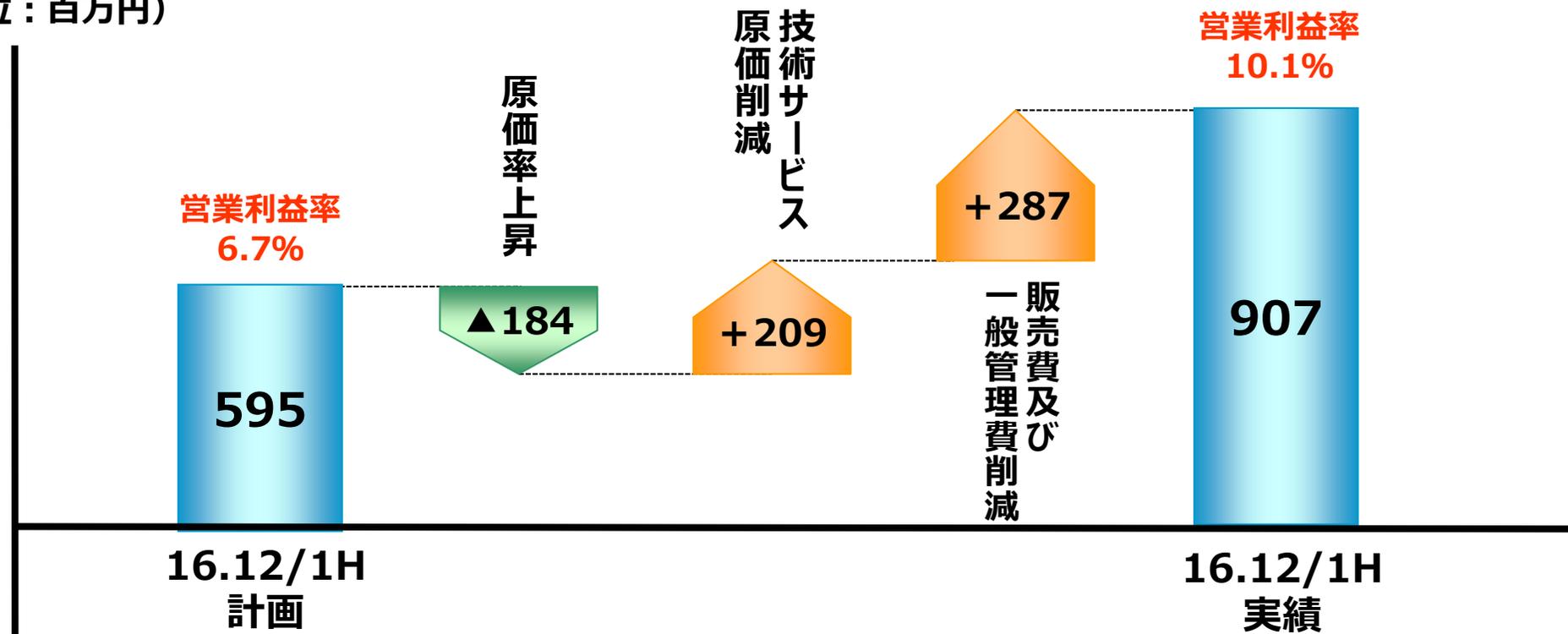
### ○営業利益

人件費増加があったものの売上増加による商品利益増加により増益

# [連結] 営業利益の増減要因 (計画比較)

CYBERNET

(単位：百万円)



## 計画比増減要因

### ○商品利益

カナダの開発子会社が利益率の高い大型OEM案件受注したものの、国内において原価率が高くなったこと及び円高による為替換算差異により減益

### ○技術サービス原価・販売費及び一般管理費

円高による為替換算差異及び経費削減等による減少

### ○営業利益

商品利益は減益となったものの経費減少により増益

# [連結] 貸借対照表

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12	16.12/1H	前期末差
<b>流動資産</b>	<b>14,857</b>	<b>16,039</b>	<b>1,182</b>
現金及び預金	2,755	2,930	174
受取手形及び売掛金	3,701	4,086	384
有価証券	3,800	4,500	699
短期貸付金	3,011	3,083	72
その他	1,588	1,439	▲ 149
<b>固定資産</b>	<b>4,028</b>	<b>3,676</b>	<b>▲ 351</b>
有形固定資産	320	301	▲ 19
無形固定資産	2,854	2,591	▲ 262
投資その他の資産	853	783	▲ 69
<b>資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>19,716</b>	<b>830</b>
<b>流動負債</b>	<b>4,175</b>	<b>5,102</b>	<b>927</b>
買掛金	1,027	1,488	460
未払法人税等	132	434	302
前受金	1,996	1,970	▲ 25
賞与引当金	282	324	41
その他	735	884	148
<b>固定負債</b>	<b>1,150</b>	<b>1,187</b>	<b>36</b>
退職給付に係る負債	1,090	1,130	40
その他	60	56	▲ 4
<b>負債合計</b>	<b>5,325</b>	<b>6,290</b>	<b>964</b>
<b>純資産合計</b>	<b>13,560</b>	<b>13,426</b>	<b>▲ 133</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>18,885</b>	<b>19,716</b>	<b>830</b>

## 前期末差増減要因

- ① 現金及び預金 (前期末差 +174百万円)
- ① 受取手形及び売掛金 (前期末差 +384百万円)
- ② 売上高の増加により、キャッシュ及び売上債権が増加
- ② 有価証券 (前期末差 +699百万円)
- 投資額の増加
- ③ のれん (前期末差 ▲379百万円)
- 償却▲170百万円及び為替換算▲208百万円により減少

# 【連結】キャッシュ・フロー計算書

CYBERNET

(単位：百万円)

	15.12/1H	16.12/1H	前同差
営業活動によるキャッシュ・フロー	588	1,399	811
投資活動によるキャッシュ・フロー	528	78	▲ 450
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 264	▲ 217	46
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 10	▲ 79	▲ 69
現金及び現金同等物の増減額	842	1,181	338
現金及び現金同等物の期首残高	4,239	5,664	1,424
<b>現金及び現金同等物の四半期末残高</b>	<b>5,082</b>	<b>6,846</b>	<b>1,763</b>

## 前年同期比増減要因

- 営業活動によるキャッシュ・フロー  
法人税等の支払額の減少・税金等調整前四半期純利益の増加等によりプラス
- 投資活動によるキャッシュ・フロー  
有価証券の償還による収入の減少等によりマイナス
- 財務活動によるキャッシュ・フロー  
配当金支出の減少等によりプラス

# [連結] 四半期売上高の推移

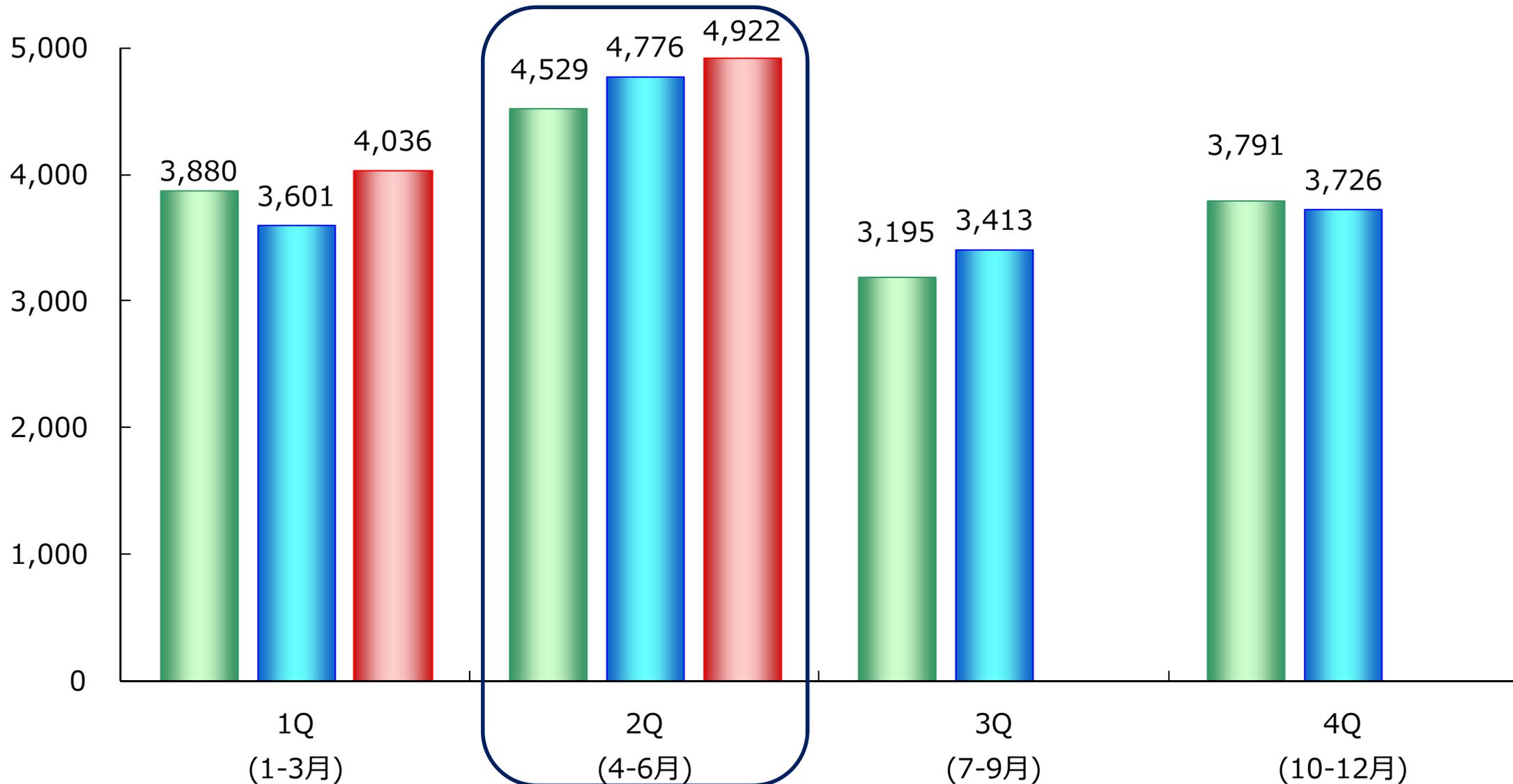
CYBERNET

緑：14.12

青：15.12

赤：16.12

(単位：百万円)



# 〔連結〕セグメント別損益の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

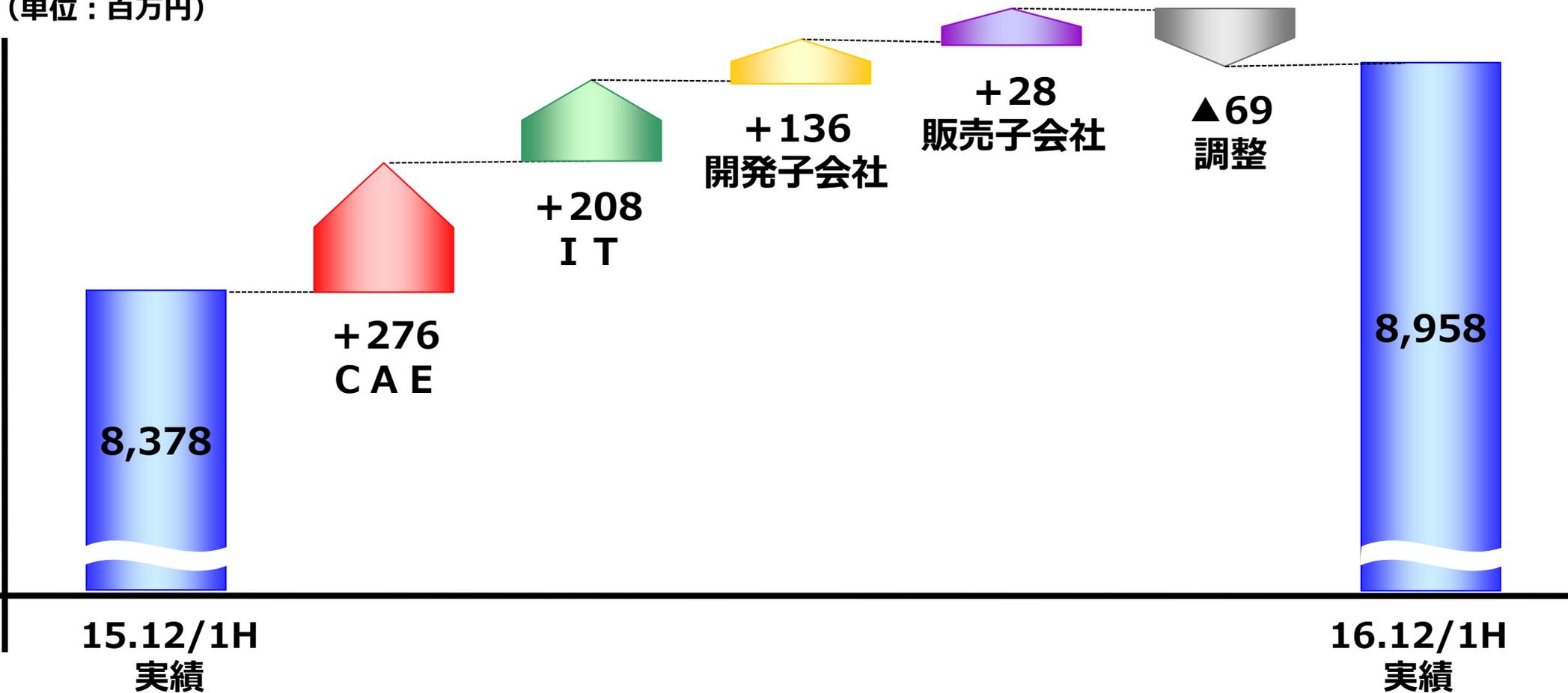
	15.12/1H	16.12/1H		
	実績	実績	前同差	前同比
売上高 合計	8,378	8,958	+ 580	106.9%
CAEソリューションサービス事業	6,952	7,366	+ 414	106.0%
ITソリューションサービス事業	1,442	1,651	+ 208	114.5%
調整額	▲ 16	▲ 59	▲ 42	—
セグメント利益（営業利益） 合計	628	907	+ 278	144.4%
CAEソリューションサービス事業	1,192	1,465	+ 272	122.9%
ITソリューションサービス事業	162	229	+ 67	141.5%
調整額	▲ 726	▲ 787	▲ 60	—

- 注) 1. 調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれており、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費です。
2. CAEソリューションサービス事業はCAE、開発子会社、販売子会社の合計です。
3. 当期より、「CAEソリューションサービス事業」の一部を組織変更に伴い「ITソリューションサービス事業」に変更しております。なお、前期のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

# [連結] 事業別売上高の増減要因（前年同期比較）

CYBERNET

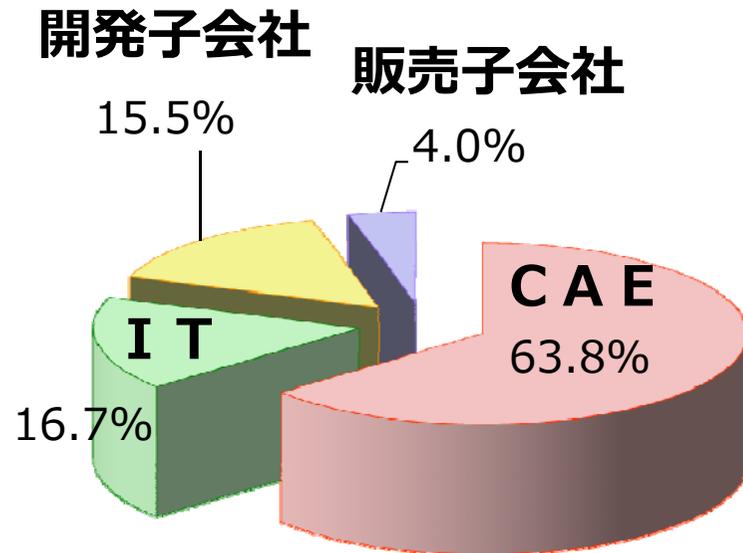
（単位：百万円）



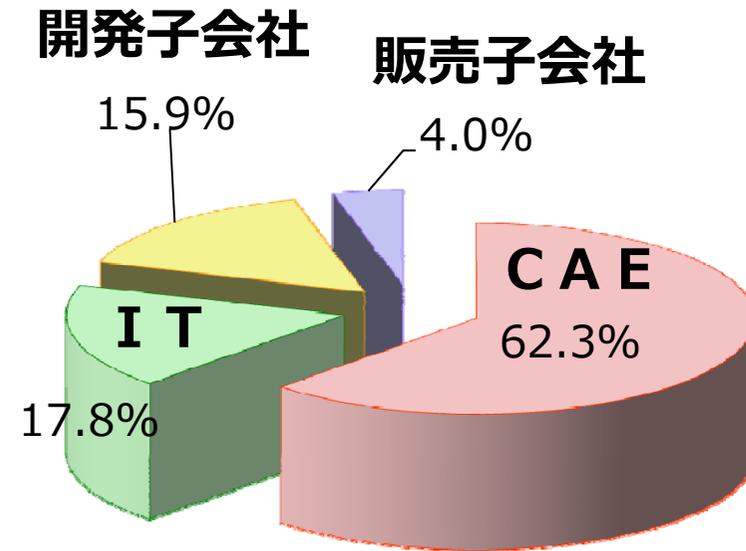
注) 各事業の分類は以下となります。

- CAEとは、個別におけるCAEソリューションサービス事業となります。
- ITとは、個別におけるITソリューションサービス事業となります。
- 開発子会社とは、連結対象の欧米の開発子会社 3 社の合計数値となります。
- 販売子会社とは、連結対象のアジアの販売子会社 2 社の合計数値となります。
- 調整とは、連結調整とセグメント間調整の合計数値となります。

# [連結] 事業別売上高の構成比



連結売上高  
8,378百万円  
15.12/1H



連結売上高  
8,958百万円  
16.12/1H

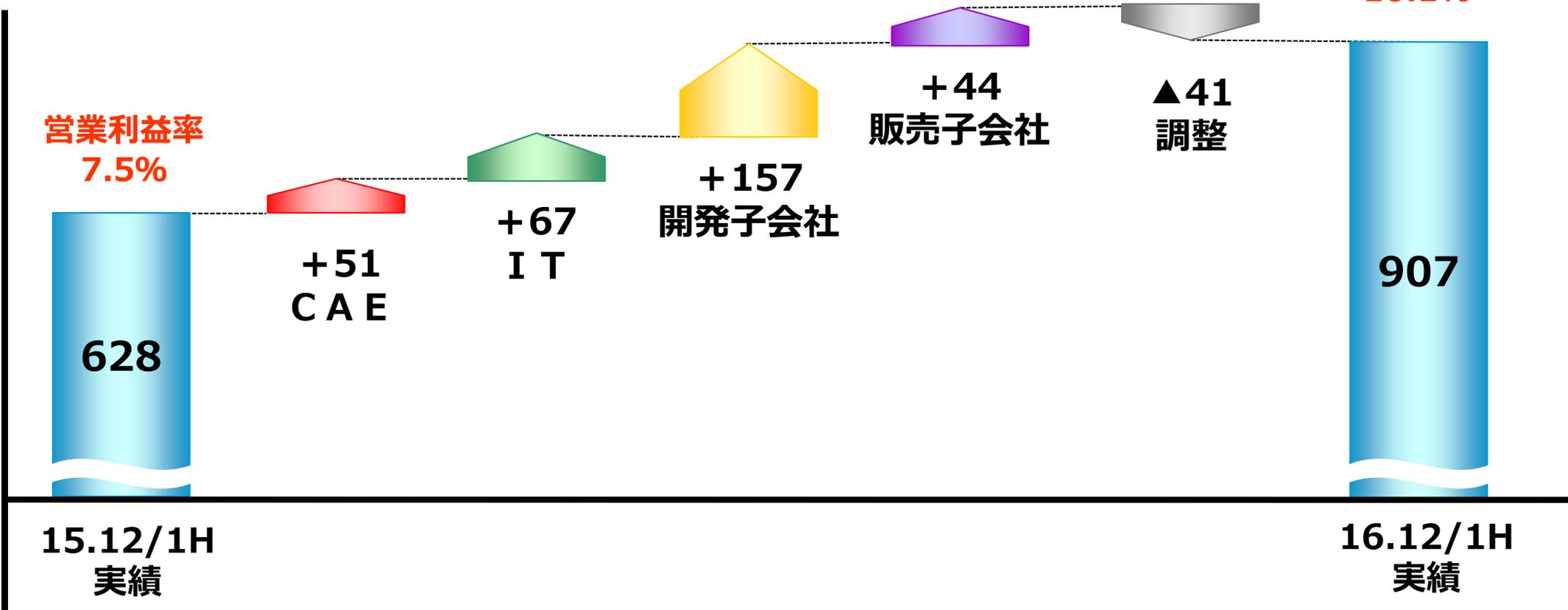
注) 上記数値は、連結調整及びセグメント間調整を除いた構成比です。  
各事業の分類は前ページと同様となります。

# [連結] 事業別営業利益の増減要因 (前年同期比較)

**CYBERNET**

営業利益率  
10.1%

(単位：百万円)



注) 上記数値は、前期営業利益に対する事業別の増減額となります。  
各事業の分類は前ページの売上高と同様となります。  
調整には、連結調整と全社費用が含まれております。

# 【個別】ソリューション別の概況

## CAEソリューションサービス

<p><b>M C A E 分野</b></p>	<p>主力のマルチフィジックス解析ツールの新規ライセンス販売は、大手製造業からの大型受注があったものの、機械・精密機器及び輸送用機器業界からの受注が落込み、低調に推移。保守契約の更新は、研究開発投資に支えられ、機械・精密機器業界や教育・官公庁からの受注が伸びたため、堅調に推移。エンジニアリングサービスは、建設業界からの受注は落込んだが、自動車業界からの受注が増加したことにより、横ばいで推移。</p>
<p><b>光学設計分野</b></p>	<p>主力商品である照明設計解析ソフトウェアは、車載及び産業用途への展開が進み、新規ライセンス販売は堅調に推移し、保守契約の更新は好調に推移。光学設計評価プログラムの新規ライセンス販売は、電気機器及び機械・精密機器業界からの受注により好調に推移し、保守契約の更新は、堅調に推移。自動車用照明設計プラットフォームは、自動車サプライヤーへの導入が進み、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。</p>
<p><b>E D A 分野</b></p>	<p>電子回路基板設計ソリューションは、取扱商品の変更に伴う立ち上げが徐々に進み、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに、当初期待した計画には至らないものの、実績を積み重ねている。プリント基板（PCB）エンジニアリングサービスは、既存顧客からの受注が堅調に推移。</p>
<p><b>M B D 分野</b></p>	<p>当社グループ製品である1D CAEツールの新規ライセンス販売は、電気機器業界でのモデルベース開発への関心が高まり好調に推移したが、保守契約の更新は、横ばいとなった。エンジニアリングサービスは、自動運転技術などに関する受託開発・コンサルティングへの投資意欲が高まっており、自動車関連業界を中心に好調に推移。</p>
<p><b>テスト・計測分野</b></p>	<p>当社が開発したFPD（Flat Panel Display）自動検査システムは、電機メーカーからの大型受注があったものの、前年の中国向け大型案件分をカバーするには至らず。</p>
<p><b>その他分野</b></p>	<p>当社グループ製品である最適設計支援ツールは、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに横ばいに推移したが、自動化・最適化などへの取組みや開発環境構築の検討が進み、引き合いも増加傾向にあり。3次元公差マネジメントツールは、市場開拓が計画通りに進まず低調に推移。CAE技術教育ビジネスは、自動車業界における人材育成ニーズの高まりを受け、各社教育計画の一環として採用されるケースが増加したことにより、好調に推移。</p>

# 【個別】ソリューション別の概況

## ITソリューションサービス

<b>ITソリューション分野</b>	主力商品である大手開発ベンダのセキュリティ関連ソリューションの新規ライセンス販売は、クラウドモデルの新規受注等により、好調に推移。また、保守契約の更新も、月額課金モデル、OEMモデルなどの成長により好調に推移。ディスク暗号化ソフトウェアは、セキュリティ事故対策への市場のニーズに支えられ、新規ライセンス販売及び保守契約の更新ともに好調に推移。クラウドサービスは、オンプレミス環境からクラウド環境への移行ニーズが高まっており、好調に推移。
<b>データソリューション分野</b>	イノベーション支援ソリューションの新規ライセンス販売は、大手素材メーカーからの大型案件受注により好調に推移し、保守契約の更新も好調に推移。医療可視化分野は、医療機関からの受託開発案件受注により、好調に推移。AR（Augmented Reality：拡張現実）分野は、前年開始した自社ARサービスの立ち上がりが順調で、引き合いが増加。

（※）2016年度において組織再編を行った結果、ビッグデータ分野と可視化分野を統合してデータソリューション分野とし、セグメントをCAEソリューションサービス事業からITソリューションサービス事業に変更しております。

# 【個別】応用分野別売上高

CYBERNET

<第2四半期>

(単位：百万円)

	15.12/2Q		16.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	2,108	51.8%	2,040	47.9%	▲ 68	96.8%
光学設計	961	23.6%	1,082	25.4%	+ 120	112.6%
EDA	71	1.8%	100	2.4%	+ 28	140.6%
MBD	108	2.7%	165	3.9%	+ 57	152.6%
テスト・計測	41	1.0%	3	0.1%	▲ 37	7.6%
その他	95	2.3%	76	1.8%	▲ 19	79.9%
CAE合計	3,385	83.2%	3,467	81.4%	+ 81	102.4%
ITソリューション	475	11.7%	512	12.0%	+ 36	107.7%
データソリューション	205	5.1%	282	6.6%	+ 76	137.3%
IT合計	681	16.8%	794	18.6%	+ 113	116.6%
合計	4,067	100.0%	4,261	100.0%	+ 194	104.8%

# 【個別】 応用分野別売上高

CYBERNET

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	15.12/1H		16.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
MCAE	3,053	44.0%	3,066	41.5%	+ 12	100.4%
光学設計	1,710	24.6%	1,843	25.0%	+ 132	107.8%
EDA	165	2.4%	196	2.7%	+ 31	118.9%
MBD	297	4.3%	403	5.5%	+ 106	135.9%
テスト・計測	104	1.5%	51	0.7%	▲ 52	49.3%
その他	166	2.4%	167	2.3%	+ 1	100.7%
CAE合計	5,497	79.2%	5,728	77.6%	+ 231	104.2%
ITソリューション	979	14.1%	1,105	15.0%	+ 126	112.9%
データソリューション	466	6.7%	550	7.5%	+ 83	118.0%
IT合計	1,445	20.8%	1,656	22.4%	+ 210	114.6%
合計	6,942	100.0%	7,384	100.0%	+ 442	106.4%

# 〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜第2四半期＞

(単位：百万円)

	15.12/2Q		16.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	1,535	37.8%	1,578	37.0%	+ 42	102.8%
機械・精密機器	638	15.7%	728	17.1%	+ 90	114.2%
輸送用機器	442	10.9%	427	10.0%	▲ 15	96.6%
その他製造業	396	9.7%	514	12.1%	+ 118	129.8%
教育・官公庁	358	8.8%	363	8.5%	+ 4	101.3%
情報・通信	285	7.0%	248	5.8%	▲ 37	87.0%
その他	410	10.1%	400	9.4%	▲ 9	97.8%
合計	4,067	100.0%	4,261	100.0%	+ 194	104.8%

# 〔個別〕業種別売上高

CYBERNET

＜第2四半期累計＞

(単位：百万円)

	15.12/1H		16.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
電気機器	2,465	35.5%	2,534	34.3%	+ 69	102.8%
機械・精密機器	1,147	16.5%	1,258	17.0%	+ 111	109.7%
輸送用機器	731	10.5%	836	11.3%	+ 105	114.4%
その他製造業	627	9.0%	862	11.7%	+ 235	137.5%
教育・官公庁	706	10.2%	649	8.8%	▲ 56	91.9%
情報・通信	450	6.5%	465	6.3%	+ 14	103.2%
その他	813	11.7%	777	10.5%	▲ 36	95.6%
合計	6,942	100.0%	7,384	100.0%	+ 442	106.4%

# 【個別】ライセンス契約別売上高

CYBERNET

<第2四半期>

(単位：百万円)

	15.12/2Q		16.12/2Q			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	1,174	30.2%	1,141	28.4%	▲ 32	97.2%
更新契約	2,715	69.8%	2,875	71.6%	+ 160	105.9%
合計	3,889	100.0%	4,017	100.0%	+ 127	103.3%

<第2四半期累計>

(単位：百万円)

	15.12/1H		16.12/1H			
	実績	構成比	実績	構成比	前同差	前同比
新規契約	2,175	34.2%	2,242	33.6%	+ 67	103.1%
更新契約	4,191	65.8%	4,439	66.4%	+ 247	105.9%
合計	6,366	100.0%	6,681	100.0%	+ 315	105.0%

注) 上記数値は、ライセンス契約形態をとるソフトウェア・ハードウェア・サービス売上高のみを対象としております。

# 〔連結〕 海外子会社の状況（開発子会社）

CYBERNET

開発子会社	WATERLOO MAPLE INC.	Noesis Solutions NV	Sigmatix, L.L.C.
	カナダ	ベルギー	米国
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>135.6%</b>	<b>99.1%</b>	<b>103.9%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>117.8%</b>	<b>92.8%</b>	<b>99.6%</b>
状況	北米において大型のOEM案件を受注し、中国においてはSTEM（※）コンピューティング・プラットフォームが好調に推移。	最適設計支援ツールの販売が、日本においては堅調に推移したが、欧州は低調に推移。	3次元公差マネジメントツールの販売が、主力の北米においては好調に推移したが、欧州では低調に推移。

（※）STEM : Science, Technology, Engineering, and Mathematics（科学、技術、工学、数学）という総合的な分野の総称

# [連結] 海外子会社の状況（販売子会社）

販売子会社	CYBERNET SYSTEMS (SHANGHAI) CO.,LTD.	CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.
	中国	台湾
売上前年比 (現地通貨ベース)	<b>119.5%</b>	<b>118.1%</b>
売上前年比 (円ベース)	<b>109.0%</b>	<b>107.6%</b>
状況	主力の光学系ソフトウェアの販売が好調に推移し、当社グループ製品であるSTEMコンピューティング・プラットフォーム及び3次元公差マネジメントツールの販売も好調に推移。	主力商品である光学系ソフトウェアの販売が伸び悩んだが、MBD関連ソフトウェアの販売が好調に推移したことにより全体としては堅調に推移。

# 2016年12月期 業績予想

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# [連結] 当期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	通期			
	16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	16,800	15,518	+1,281	108.3%
営業利益	950	851	+98	111.5%
営業利益率	5.7%	5.5%	+0.2P	
経常利益	1,048	1,003	+44	104.5%
経常利益率	6.2%	6.5%	▲0.3P	
親会社株主に帰属する 当期純利益	461	463	▲2	99.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益率	2.7%	3.0%	▲0.3P	
のれん償却前営業利益	1,316	1,228	+87	107.1%
のれん償却前営業利益率	7.8%	7.9%	▲0.1P	

※P：ポイント

# 【連結】 当期の配当予想

CYBERNET

(単位：円)

	15.12	16.12E		
	合計	第2四半期末	期末	合計
	実績	実績	予想	予想
1株当たり配当額	13.80	6.50	6.50	13.00
1株当たり当期純利益	14.87	16.16	—	14.80
配当性向	92.8%	—	—	87.8%
(参考) 純資産配当率	3.1%	—	—	3.0%

## 配当方針

当社は、2015年度より、以下のうちいずれか高い方を配当金額決定の参考指標とし、あわせて今後の企業価値向上に向けての中長期的な投資額を勘案した上で、総合的な判断により決定しております。

- ・配当性向50%
- ・純資産（株主資本）配当率3.0%

## サイバネット独自の価値の提供

- 1D CAE + 3D CAE MDS (※)
- CAE + テスト・計測ソリューションの拡大MDS (※)

連結売上高（連結売上高に占める割合）

[2014年] 127億円（82.7%） ⇒ [2020年] 259億円（86.4%）

※ MDS: マルチドメインソリューション

## 自動車関連分野に注力

- 国内売上高（国内売上高に占める割合）

[2014年] 15億円（12%） ⇒ [2020年] 約50億円（25%）

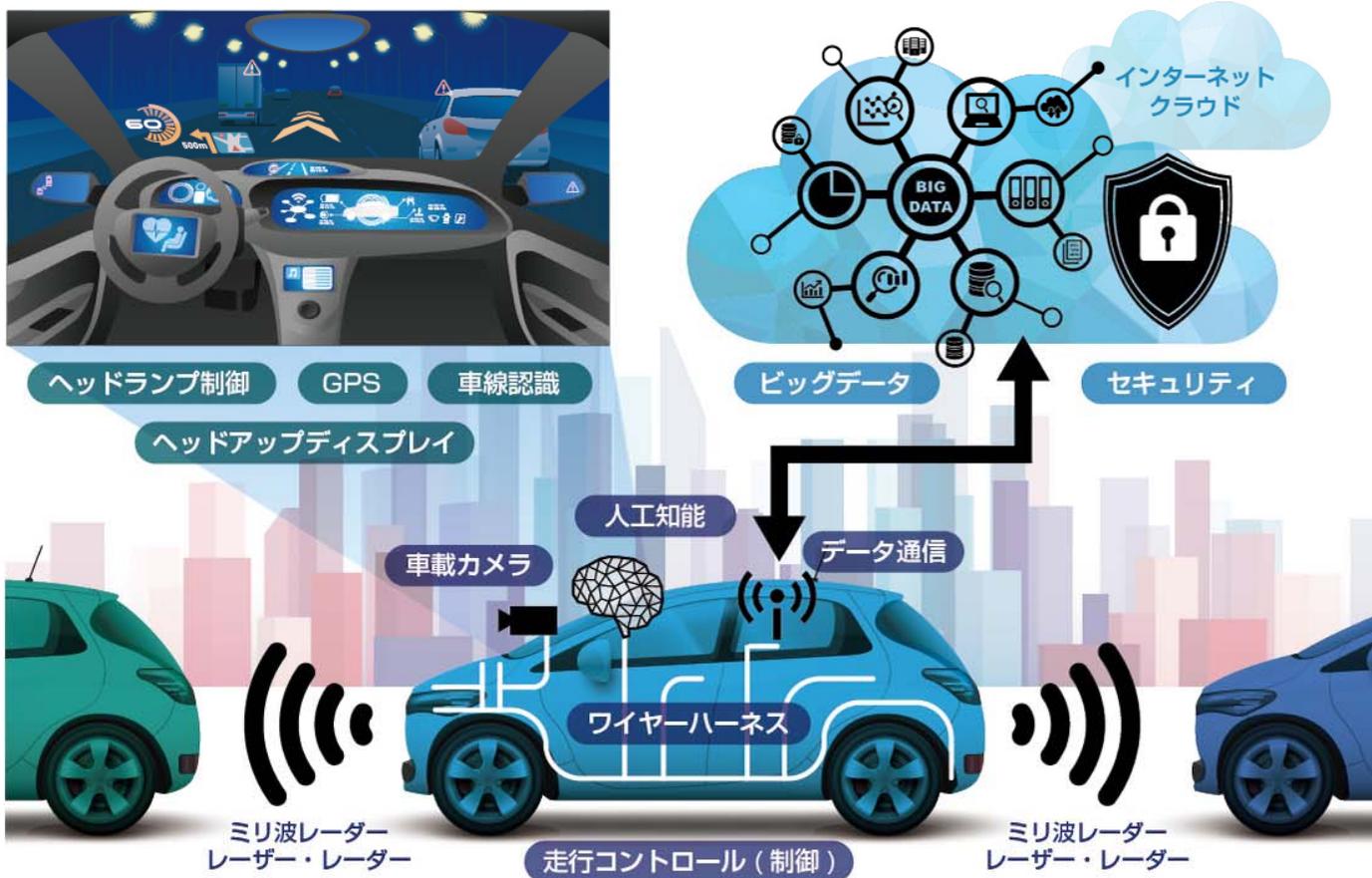
## パートナーとの連携の強化

- グローバル&ローカルに販売/サポート体制構築
- OEM提供の推進

# 自動車開発における当社技術活用例

CYBERNET

## 自動運転に活かされるCAE技術



## 研究開発を革新するCAE



当社AR技術（cybARnet）を体験！  
スマホから簡単に当社の会社紹介ムービーをご覧ください！

- ① AppStore、もしくはGoogle Play で「cybARnet」を検索（下記赤いマークが目印）
- ② アプリを起動し、画面右上のQRコード読み取りボタンをタップ
- ③ 下記QRコードを読み取り
- ④ 下記赤いマークをカメラで写すと、仮想空間に紹介ムービーが現れます！





# 参考資料

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**

# 会社概況（2016年6月30日現在）

**CYBERNET**

- ◆ **名称** : サイバネットシステム株式会社（東証第一部 4312）  
Cybernet Systems Co., Ltd.
- ◆ **本社** : 東京都千代田区神田練塀町3番地
- ◆ **拠点** : 西日本支社（大阪）、中部支社（名古屋）
- ◆ **設立** : 1985年4月17日
- ◆ **資本金** : 995百万円
- ◆ **社員数** : 連結 594名  
個別 361名
- ◆ **事業内容** : C A Eソリューション及び I Tソリューションサービスの提供、  
各種コンサルティングの提供
- ◆ **子会社** : 連結 WATERLOO MAPLE INC.（カナダ）  
Noesis Solutions NV（ベルギー）  
CYBERNET SYSTEMS（SHANGHAI）CO.,LTD.（中国）  
Sigmatix, L.L.C.（米国）  
CYBERNET HOLDINGS CANADA, INC.（特定目的会社）  
Cybernet Systems Holdings U.S. Inc.（特定目的会社）  
CYBERNET SYSTEMS TAIWAN CO.,LTD.（台湾）

C A Eとは、Computer Aided Engineeringの略で、コンピュータによる工学支援のことをいい、コンピュータ上で仮想設計し、仮想実験することです。

# 【個別】業績の概況

CYBERNET

(単位：百万円)

	16.12/1H	15.12/1H			16.12/1H		
	実績	実績	前同差	前同比	計画	計画差	計画比
売上高	7,384	6,942	+ 442	106.4%	7,224	+ 160	102.2%
営業利益	938	873	+ 64	107.4%	865	+ 73	108.4%
営業利益率	12.7%	12.6%	+ 0.1P		12.0%	+ 0.7P	
経常利益	908	876	+ 32	103.7%	865	+ 43	105.1%
経常利益率	12.3%	12.6%	▲ 0.3P		12.0%	+ 0.3P	
四半期純利益	545	491	+ 53	110.9%	494	+ 51	110.4%
四半期純利益率	7.4%	7.1%	+ 0.3P		6.8%	+ 0.6P	

※P：ポイント

# 【個別】 当期の業績予想

CYBERNET

(単位：百万円)

	通期			
	16.12E	15.12		
	予想	実績	前同差	前同比
売上高	13,155	12,331	+823	106.7%
営業利益	1,197	1,163	+33	102.9%
営業利益率	9.1%	9.4%	▲0.3P	
経常利益	1,197	1,197	+0	99.9%
経常利益率	9.1%	9.7%	▲0.6P	
当期純利益	672	665	+6	101.0%
当期純利益率	5.1%	5.4%	▲0.3P	

業績予想について

※P：ポイント

16.12Eの期初業績予想における為替レートは110円/USDを想定したものであります。

## ■ 広報室

住 所                   〒101-0022 東京都千代田区神田練塀町3番地  
T E L                   03-5297-3066  
F A X                   03-5297-3609  
E - M A I L           irquery@cybernet.co.jp  
We bサイト           http://www.cybernet.jp/

本資料は、投資家の投資の参考となる情報のみを目的としており、取引の勧誘を目的としておりません。  
本資料は、当社業務によって得られた各種データに基づいて作成したものです。その安全性を保証するものではありません。  
また、資料に記載された意見や予測は資料作成時の当社の見通しであり、当該意見、予測等を使用した結果についてもなんら保証するものではありません。  
記載された内容が予告なしで変更することもありますのでご注意ください。  
投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断でなされるようお願いいたします。

つくる情熱を、支える情熱。  
**CYBERNET**